

「2023 中期経営計画」(2022年4月～2026年3月)

株式会社三井 E&S ホールディングス(社長:高橋 岳之)は、2022年度から2025年度までの中期経営計画「2023 中期経営計画」(2023 中計)を策定しました。

1. 経営コンセプト

持続可能社会への急速な移行、環境変化や当社自体の変革をふまえ、当社グループの企業理念・ビジョン・経営姿勢を再定義致しました。

■企業理念

- ・エンジニアリングとサービスを通じて、人に信頼され、社会に貢献します。

■ビジョン(目指す姿)

- ・2030年までに、マリンの領域を軸に、脱炭素社会の実現と、人口縮小社会の課題解決を目指します。

■経営姿勢

- ・新しい価値の創造を顧客と共に実現します。
- ・健全な財務体質と堅実な利益を追求します。
- ・サステナビリティの課題解決を推進します。

■行動規準

- ・シンプルで、ユニークで、プラクティカルな製品やサービスに挑戦します。

2. 2023 中期経営計画 数値目標

財務基盤の回復を図るとともに、反転攻勢に向けた成長投資を実行します。

項目	目標値 (2025年度)
連結売上高	2,800億円
連結営業利益率	6%
自己資本比率	26%
NET有利子負債/EBITDA倍率	5.0倍
設備投資・研究開発・投融資	300億円*

*2023 中期経営期間中(2022～25年度)の合計値

3. 成長戦略

グリーン戦略による売上規模拡大とデジタル戦略による収益安定化を図ります。

- ・方針 : マリン領域を軸に、中核事業である船用推進事業・港湾物流事業を、「グリーン」と「デジタル」の切り口で発展させる。
- ・グリーン戦略:カーボンニュートラル社会の実現のため、脱炭素関連製品提供に注力し、売上規模の拡大を図る。
- ・デジタル戦略:人口縮小社会への対応に必要なデジタル技術を活用した、サービス提供に取り組み、

収益安定化を図る。

- ・成長投資 : 上記実現のために、船用推進事業・港湾物流事業で約 300 億円規模の成長投資を実行します。

資金用途	調達方法	投資額
<ul style="list-style-type: none"> ・アンモニア燃料船、ゼロエミトランステーナ®の研究開発 ・船用エンジン/港湾サービス連携分野のデジタルサービス開発 ・将来的なM&A・アライアンス等に係る資金 ・アンモニア・LNG 燃料主機関試運転用燃料供給設備増強 	A 種優先株	約 90 億円
<ul style="list-style-type: none"> ・大型 LNG・LPG・メタノール燃料主機関の製造設備増強 ・水素燃料機関の技術開発の設備導入 	新株予約権	約 40 億円
<ul style="list-style-type: none"> ・その他新燃料主機関の製造設備増強 ・その他 DX を活用したサービス開発 	自己資金 借入金	約 170 億円
合計		約 300 億円

4. サステナビリティ課題への取り組み

当社グループは、サステナビリティ課題に対し、以下のマテリアリティおよび 2030 年度目標を設定しました。社会課題の解決および人材育成・多様性の確保に注力してまいります。

マテリアリティ	2030 年度目標
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対応製品市場投入による CO2 削減貢献量 従来比 66% 削減(2019 年度比) ・グループの生産活動による CO2 削減量 従来比 17% 削減(2019 年度比)
人口縮小社会の課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・自動化製品(トランステーナ®) 市場投入： 自動化製品率 40%(年間売上高比)

5. 人材育成・多様性確保への取り組み

成長へ向け人材の多様化を進め、組織風土を変え、社員の意識改革を促進します。

	2030 年目標	
	女性比率	外国人比率
管理職	5 %	3 %
従業員全体	10 %	5 %
技術職 新卒採用	10 %	20 %

6. 経営基盤改革の全体像

改革テーマとして、シンプル・ユニーク・プラクティカルな仕組みを踏襲し、持続的発展と企業価値向上を目指し成長軌道にのせる経営基盤へ改革します。

【お問い合わせ先】

株式会社三井 E&S ホールディングス 経営企画部 広報室
電話 : 03-3544-3147